

富山市

スマートシティ推進基盤 操作手順書

ダッシュボード

2019年5月29日

目次

1	はじめに	3
1.1	スマートシティ推進基盤 ダッシュボードとは	3
1.2	用語定義.....	3
2	システムの利用をはじめる	4
3	トップ画面の使いかた	5
4	マップ画面の使いかた	8
4.1	マップを操作する	9
4.2	表示するアイコンを選ぶ.....	10
5	各種操作	11
5.1	詳細情報を見る	11
5.2	情報を検索する	11
5.3	グラフを表示する	13
5.4	データをダウンロードする.....	14
5.5	履歴データをダウンロードする	15
5.5.1	指定したエンティティタイプの全履歴データをダウンロードする	15
5.5.2	特定のエンティティの履歴データをダウンロードする	16
5.6	CSV データを入力する	17
5.7	ユーザ情報を更新する	18
5.8	パスワードを変更する	19
6	付録.....	22
6.1	使用可能ブラウザ	22
6.2	CSV フォーマット	23
6.2.1	デバイス付与情報 CSV、オープンデータ CSV	23
6.3	こんなときは	25

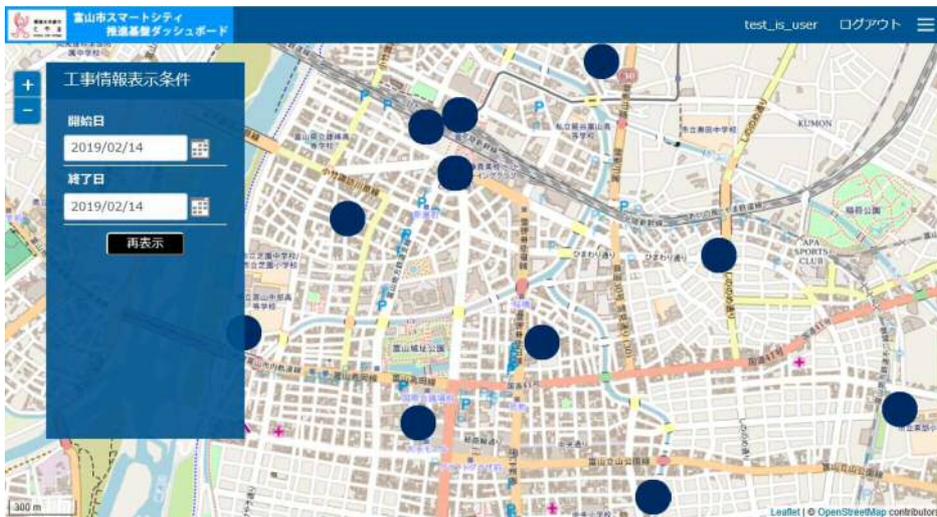
1 はじめに

1.1 スマートシティ推進基盤 ダッシュボードとは

スマートシティ推進基盤 ダッシュボード（以下、本システム）は、共通プラットフォームを活用し、収集したデータを PC ブラウザで閲覧するシステムです。

本システムでは以下のことができます。

地図上にデバイス、施設の位置等をアイコン表示します。



1.2 用語定義

本文書で使用する用語定義は以下の通りです。

用語	説明
共通プラットフォーム	欧州で実績のあるスマートシティ向け共通プラットフォームを活用した、産学官の多様な主体がデータを利活用することができるプラットフォーム。

2 システムの利用をはじめる

1. ログイン画面を表示する

ブラウザを起動し、下記のURLにアクセスしてください。

(公開用)

<https://○○○○> (公募採択者にのみ提示)

この画面をブックマークに追加してください。

 URL は必ず https を指定してください。

 使用可能なブラウザについては 6.1 使用可能ブラウザを参照してください。

2. 本システムにログインする

ユーザIDとパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。

(公開用)



認証に成功するとトップ画面が表示されます。

画像は、データ更新権限が付与されたユーザのトップ画面です。権限により、表示されるメインメニューが変わります。



3 トップ画面の使いかた

トップ画面は、ログインしたユーザが利用できる画面へのリンクメニューを表示します。

また、お知らせやアラートの発生状況を確認することができます。



【A】 ヘッダメニュー

トップ画面、マップ画面、システム設定画面で共通する操作メニューを表示します。

ロゴ

クリックするとトップ画面を表示します。



ユーザ名

クリックするとユーザポータルページを表示します。

ユーザごとのプロフィールやパスワードを変更することができます。

ログアウト

クリックで、確認ダイアログが表示されます。

[OK]ボタンをクリックするとシステムの利用を終了してログイン画面へ戻ります。

再度システムを利用する場合はログイン操作が必要となります。

ログイン操作は「2 システムの利用をはじめる」をご覧ください。

【B】 メインメニュー

地図表示

クリックで、マップ画面を表示
します。



地図表示

都市の各データを地図上に
表示します。

CSV インポート

クリックで、CSV インポート画面を表示します。
データ更新権限があるユーザの場合のみ表示されます。



CSVインポート

CSVインポート画面を開き
ます。

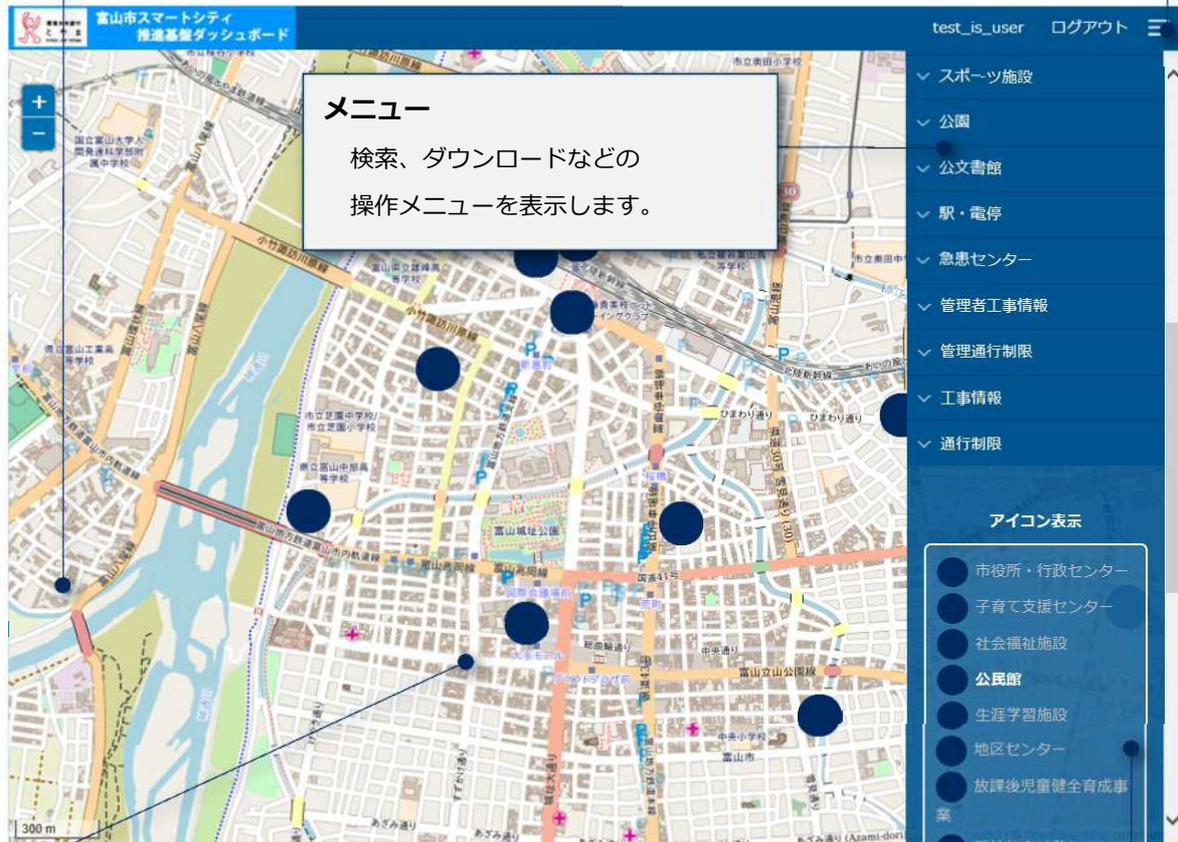
4 マップ画面の使いかた

マップ

富山市の地図上に、実証事業データ、情報をアイコンで表示します。

メニュー開閉ボタン

クリックするとメニューを開きます。
もう一度クリックするとメニューを閉じます。



アイコン

クリックすると詳細情報を閲覧できます。

アイコン表示

マップ上に表示するアイコン（情報の種類）とメッシュを選べます。

4.1 マップを操作する

富山市の地図をフリースクロールマップで表示します。

マウス操作によってマップ表示位置の移動、縮尺の変更ができます。

メニューから検索することで目的の情報アイコン表示位置まで移動することもできます。

 実証事業者が作成したデータのアイコンは、他の実証事業者には表示されません。

縮尺変更

[+]クリックで拡大、[-]クリックで縮小します。

マウス操作

ドラッグでマップの表示位置を移動します。

マウスホイール↑で拡大、↓で縮小します。



スケールバー

表示中の縮尺を確認できます。

4.2 表示するアイコンを選ぶ

マップ上に表示する情報アイコンを選ぶことができます。アイコン表示の凡例をクリックすることで、マップ上のアイコンの表示と非表示を切り替えます。

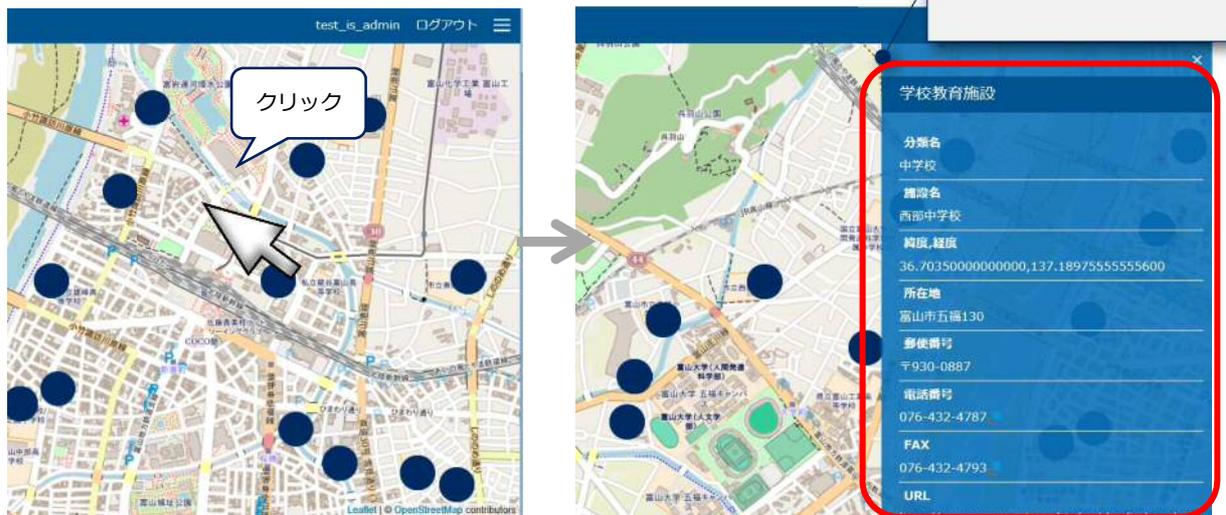
- ・表示中 = 白 (太字)
- ・非表示 = 灰



5 各種操作

5.1 詳細情報を見る

1. ダッシュボードにログインする
2. 「地図表示」をクリックする
3. アイコンをクリックすると、詳細情報が表示される



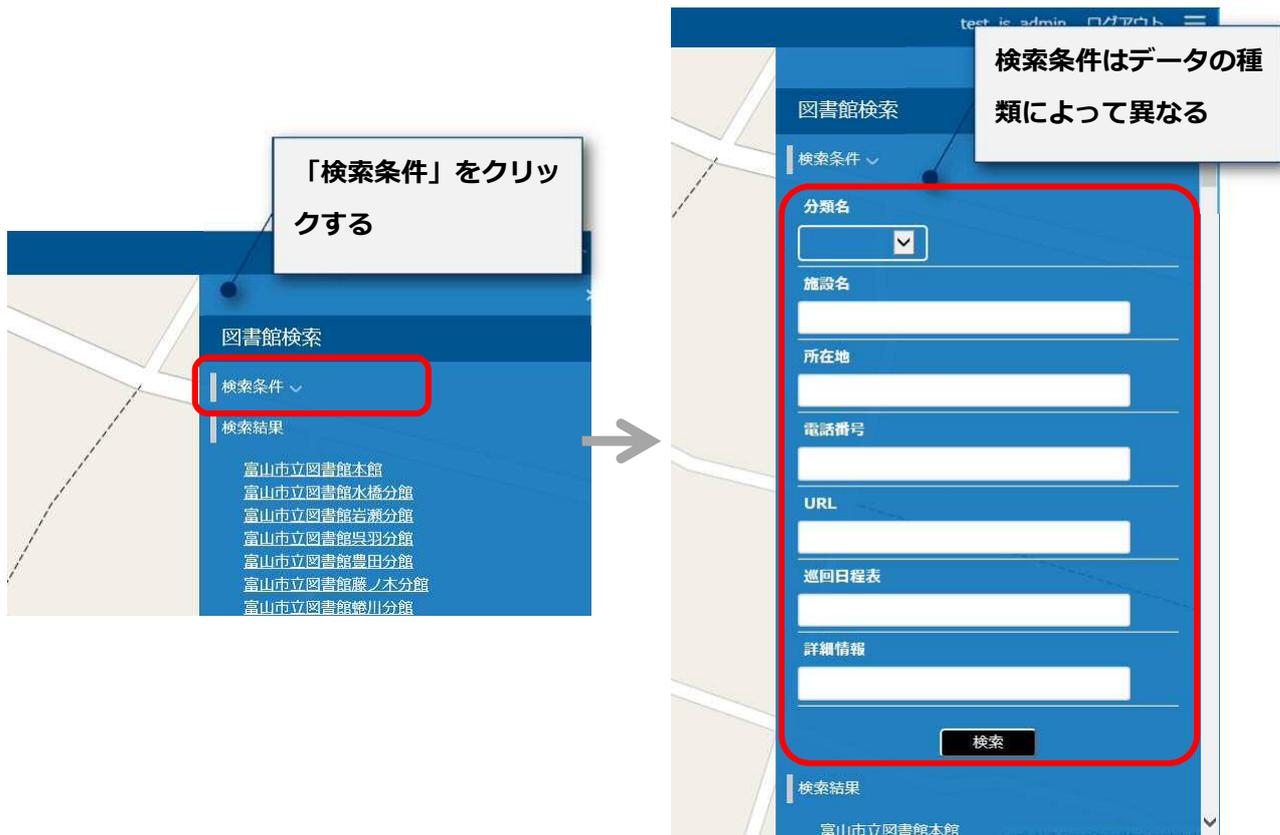
5.2 情報を検索する

1. ダッシュボードにログインする
2. 「地図表示」をクリックする
3. 右上のメニューを開き、参照したいデータをクリックし、アコーディオンを開く
4. 「検索」をクリックする



5. 「検索条件」をクリックすると、検索条件のアコーディオンが開くので、検索条件を指定して「検索」をクリック

する



6. 検索結果が表示される



5.3 グラフを表示する

1. ダッシュボードにログインする
2. 「地図表示」をクリックする
3. アイコンをクリックすると、詳細情報が表示される



グラフが表示できるデータの場合、「グラフ表示」が表示される

4. グラフが表示される



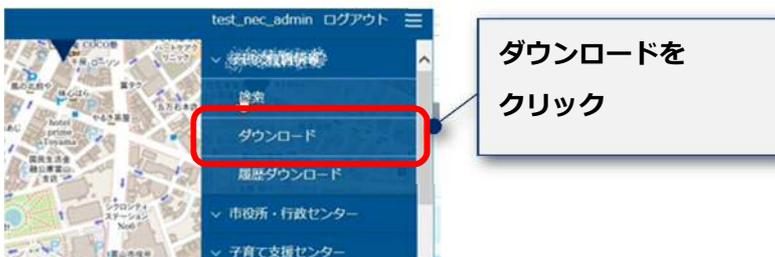
5.4 データをダウンロードする

本手順では、指定したエンティティの最新データを全てダウンロードすることができます。

1. ダッシュボードにログインする
2. トップ画面で「地図表示」をクリックする
3. 右上のメニューを開き、参照したいデータをクリックし、アコーディオンを開く



4. 「ダウンロード」をクリックすると確認ダイアログが表示されるので、「OK」をクリックする
「参照」ボタンをクリックすると、ファイル選択ダイアログが表示されます。ファイルを選択します。



5. ブラウザのファイルのダウンロード機能で、ファイルをダウンロードする

5.5 履歴データをダウンロードする

本手順では、指定したエンティティタイプの全履歴データ、または特定のエンティティの履歴データをダウンロードすることができます。

履歴データのダウンロードでは、期間を指定することができます。

5.5.1 指定したエンティティタイプの全履歴データをダウンロードする

1. ダッシュボードにログインする
2. トップ画面で「地図表示」をクリックする
3. 右上のメニューを開き、参照したいデータをクリックし、アコーディオンを開く



4. 「履歴ダウンロード」をクリックする



履歴ダウンロードを
クリック

5. 「履歴データの対象期間指定」で、開始日と終了日を設定し、「ダウンロード」をクリックする



6. 確認ダイアログが表示されるので、「OK」をクリックする



7. ブラウザのファイルのダウンロード機能で、ファイルをダウンロードする

5.5.2 特定のエンティティの履歴データをダウンロードする

1. ダッシュボードにログインする

2. 特定のエンティティの詳細画面を表示する

詳細は、「5.1 詳細情報を見る」を参照します。

3. 「履歴ダウンロード」をクリックする



4. 「履歴データの対象期間指定」で、開始日と終了日を設定し、「ダウンロード」をクリックする



5. 確認ダイアログが表示されるので、「OK」をクリックする



6. ブラウザのファイルのダウンロード機能で、ファイルをダウンロードする

5.6 CSV データを入力する

デバイス付与情報、オープンデータ、LLP データ等を登録したい場合、CSV インポート機能を使用します。

1. CSV を作成する

「6.2.1 デバイス付与情報 CSV、オープンデータ CSV」を参照し、登録に必要な CSV を作成します。

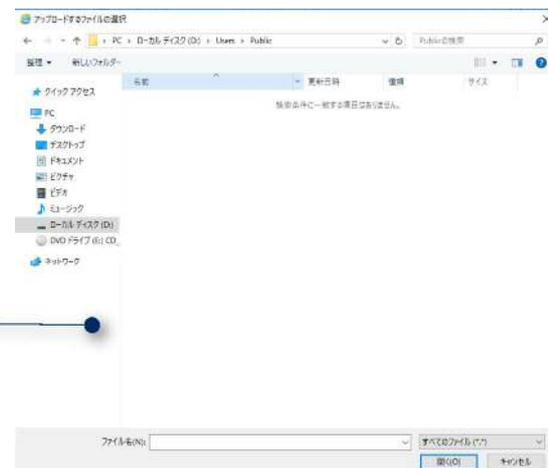
2. ダッシュボードにログインする

3. トップ画面の「CSV インポート」をクリックする

トップ画面に表示される「CSV インポート」をクリックします。

4. 「参照」ボタンをクリックし、ファイルを選択する

「参照」ボタンをクリックすると、ファイル選択ダイアログが表示されます。ファイルを選択します。



ファイル選択ダイアログ
でファイルを選択する

5. 「登録」ボタンをクリックする

「登録」ボタンをクリックすると、CSV ファイルのインポートを開始します。

インポート処理中は、プログレスバーが表示されます。

インポートが完了すると、「CSV インポートが正常に完了しました」と表示されます。

 CSV に登録済みのデータ行が記載されている場合、データは上書きされます。

 インポートに失敗した場合、「CSV インポートに失敗しました」と表示されます。CSV の内容に誤りがないか確認してください。

5.7 ユーザ情報を更新する

1. ダッシュボードにログインする

2. 右上のユーザー名のリンクをクリックする



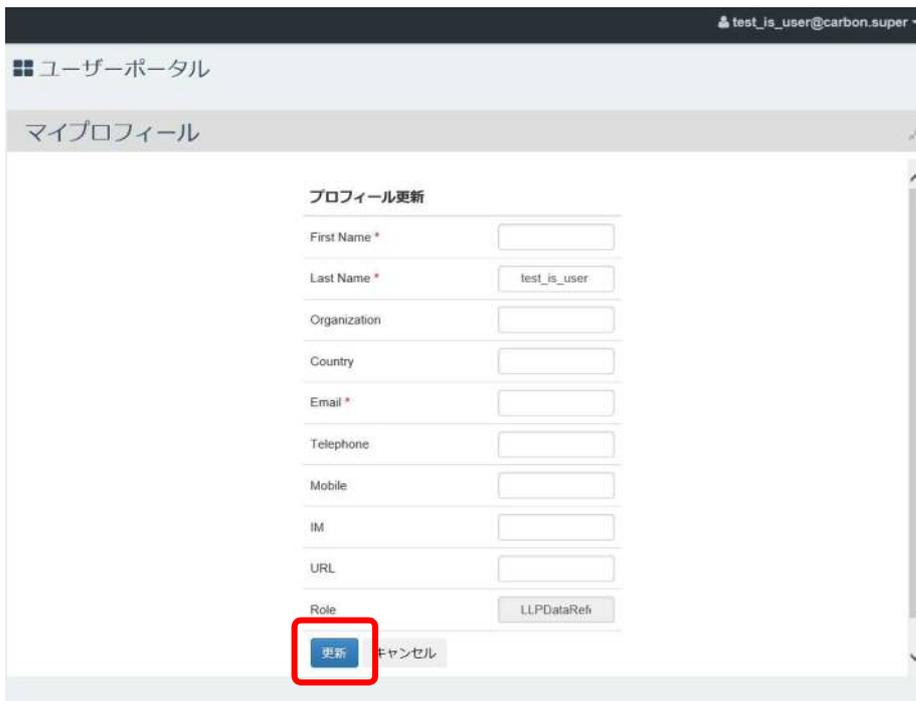
3. ダッシュボードのログイン時に使用したユーザー名とパスワードを入力し、「サインイン」をクリックする



4. ユーザーポータル「マイプロフィール」の「詳細」をクリックする



5. 必要な情報を入力し、「更新」をクリックする



6. 成功のダイアログが表示されることを確認する

5.8 パスワードを変更する

1. ダッシュボードにログインする
2. 右上のユーザー名のリンクをクリックする
3. ユーザーポータルの「パスワード変更」の「詳細」をクリックする



4. 以下の情報を設定し、「更新」をクリックする

- ・現在のパスワード：現在のパスワードを入力する
- ・新しいパスワード：新しいパスワードを入力する
- ・新しいパスワードの再入力：「新しいパスワード」と同じものを入力する

test_is_user@carbon.super

ユーザーポータル

パスワード変更

パスワード更新	
現在のパスワード	<input type="password"/>
新しいパスワード	<input type="password"/>
新しいパスワードの再入力	<input type="password"/>

更新 キャンセル

test_is_user@carbon.super

ユーザーポータル

パスワード変更

パスワード更新	
現在のパスワード	<input type="password"/>
新しいパスワード	<input type="password"/>
新しいパスワードの再入力	<input type="password"/>

更新 キャンセル



パスワードは以下のポリシーに従って設定してください。

- ・パスワード長 5 文字以上、30 文字以下
- ・半角英数字（大文字/小文字）、記号 (!"#\$%&'()*+,-./:;<=>@[?]^_`{|}~) での組み合わせ

5. 成功のダイアログが表示されることを確認する

6 付録

6.1 使用可能ブラウザ

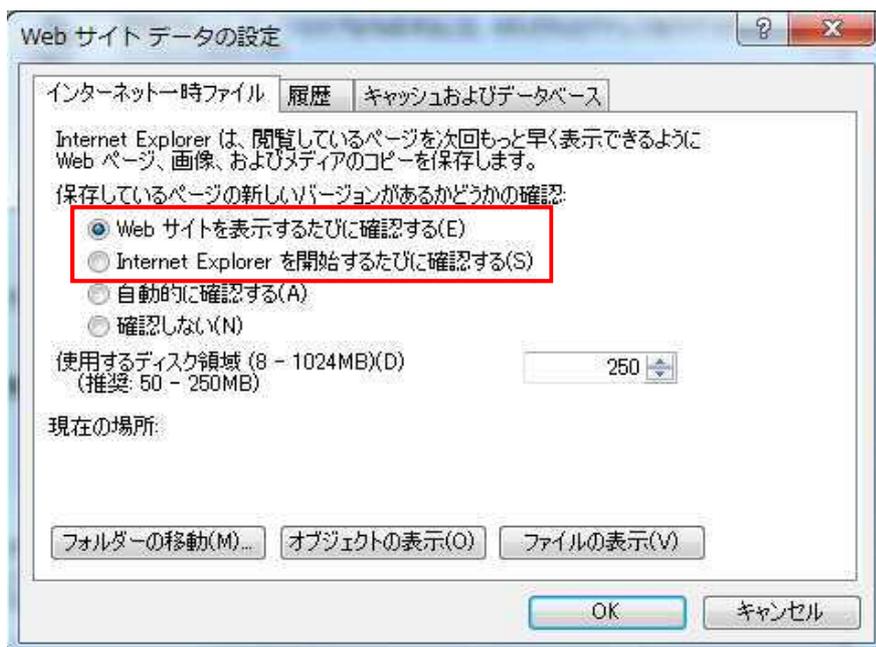
使用可能ブラウザは下記の通りです。

カテゴリ	項目	内容
PC	OS	Windows 7, 8, 10
	ブラウザ	Chrome、Internet Explorer 11 以上、Microsoft Edge

※ 利用するブラウザにて、Cookie と JavaScript が有効になっていること。

! Internet Explorer には、下記の設定をしてください

インターネットオプション - 全般 - 閲覧の履歴 - 設定 - インターネット一時ファイルタブで、「Web サイトを表示するたびに確認する」または「Internet Explorer を開始するたびに確認する」を選択し、[OK] ボタンをクリックする。



※ 「自動的に確認する」または「確認しない」が選択されていると、地図上の各アイコンが自動更新されないことがあります。

6.2 CSV フォーマット

6.2.1 デバイス付与情報 CSV、オープンデータ CSV

本システムの CSV インポート機能で使用する「デバイス付与情報 CSV」「オープンデータ CSV」、は同じ形式です。

1. ファイルフォーマット

項目	値
ファイル名	<※任意>.csv
文字コード	UTF-8
改行コード	LF
BOM	なし

2. CSV の内容

No	項目	必須	参考	説明
1	エンティティタイプ	○	Schooling	エンティティのタイプを指定する。※2
2	エンティティ ID	○	jp.toyama.toyama.smart.city.Schooling.1	エンティティ ID を指定する。※2
3	属性の名前	○※	category	属性の名前を指定する。※2
4	属性のタイプ	○※	Text	属性のタイプを指定する。※2
5	属性の値	○※	小学校	属性の値を指定する。※2 ※3

※1 No.3~No.5 で1つのセットとなっており、属性は複数指定することが可能。また、属性を指定する場合は、1セットの中ですべての項目（名前、タイプ、値）が必須となる。

※2 詳細は、「データモデル設計書」を参照。

※3 位置情報など、値にカンマ(,)を含む場合はダブルクォーテーション(")で囲む。

3. 作成例

- 例 1) エンティティ名「School」、エンティティ ID「jp.toyama.toyama.smart.city.School.1」、
「category」属性に「Text」形式で「〇×小学校」、「name」属性に「Text」形式で「小学校」とい
うデータを 1 件入力する場合

```
School,jp.toyama.toyama.smart.city.School.1,category,Text,小学校,name,Text,〇  
×小学校
```

- 例 2) エンティティ名「School」、エンティティ ID「jp.toyama.toyama.smart.city.School.2」、
「location」属性に「geo:point」形式で「緯度:34.350806005910014 経度:134.0465517970581」
というデータを 1 件入力する場合

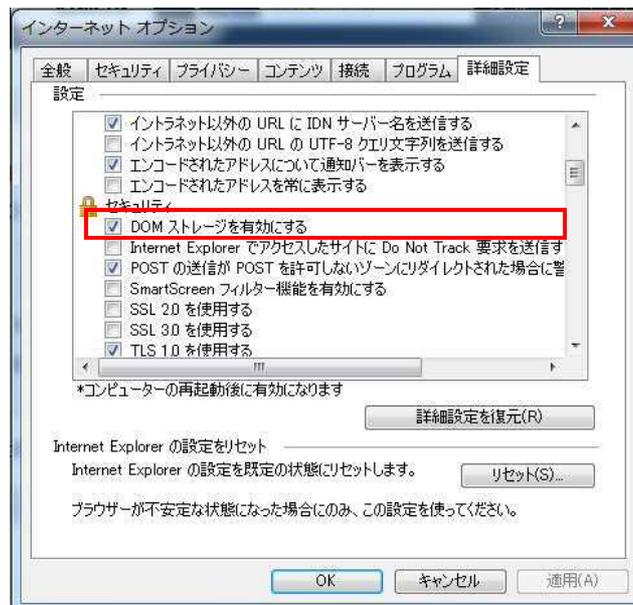
```
School,jp.toyama.toyama.smart.city.School.2 ,location,geo:point,"34.350806005  
910014, 134.0465517970581"
```

6.3 こんなときは

❗ Internet Explorer で DOM ストレージが使えない場合

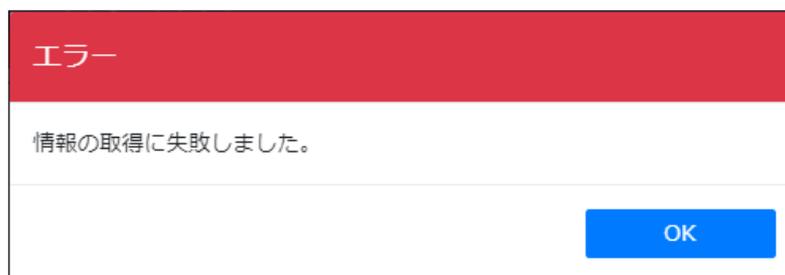
マップ画面でアラートが表示されない、「4.2 表示するアイコンを選ぶ」で選択したアイコンの表示状態が次回ログイン時に反映されない場合などは、ブラウザの DOM ストレージにアクセスできないことが原因である可能性があります。以下の手順を実施してください。

インターネットオプション - 詳細設定タブで、「DOM ストレージを有効にする」にチェックをつける。



❗ マップ画面にエラーが表示される

マップ画面の操作中に以下のメッセージが表示された場合は、本システムからログアウトし、再度ログインしてください。



ログアウト、ログインの手順は以下をご覧ください。

ログアウト : 「3 トップ画面の使いかた」

ログイン : 「2 システムの利用をはじめる」